

国立大学法人香川大学学長の業務執行状況の確認結果について

令和 7 年 3 月 1 3 日
国立大学法人香川大学
学長選考・監察会議

国立大学法人香川大学学長選考・監察会議は、国立大学法人香川大学学長選考・監察会議規則第 4 条第 4 号に規定する学長の業務執行状況の確認について、下記のとおり確認を行った。

記

1. 対象期間

令和 5 年 1 0 月 1 日から令和 6 年 9 月 3 0 日

2. 確認経過

- (1) 学長選考・監察会議（令和 6 年 1 1 月 2 1 日開催）
確認資料に基づく書面審査を行い、各委員からの意見を聴取した。
- (2) 学長選考・監察会議（令和 7 年 1 月 2 9 日開催）
各委員からの意見に基づく学長からのヒアリングを行い、加えて監事からの意見を聴取した。
- (3) 学長選考・監察会議（令和 7 年 3 月 1 3 日開催）
以下のとおり確認結果を策定した。

3. 確認結果

学長選考・監察会議では、「上田 夏生」学長の業務執行状況は、大学運営に係る諸課題に対して真摯に取り組み、就任 1 年目から、着実に成果を上げていることを踏まえ、適正であることを確認した。

特に、上田学長は、学長選考時の所信に掲げる大学院教育の振興にあたり、令和 6 年 4 月の大学院創発科学研究科（博士後期課程）の開設に続き、医学系研究科臨床心理学専攻（博士後期課程）の開設に向けた取り組みを進めるなど、大学院改革に弛みない手腕を発揮している。

また、令和 6 年 1 月には、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化推進事業（J-PEAKS）」の採択を受け、令和 6 年 8 月には瀬戸内エリアの地域型研究拠点として「芸術未来研究場せとうち」を開所するなど、東京藝術大学との連携プロジェクトの始動が本格化したことに伴い、自治体や産業界と連携した施設の活用により、新たなイノベーションの創出等、J-PEAKS のさらなる発展が期待される。加えて、令和 6 年 6 月には、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「大学・高専機能強化支援事業」の採択を受け、情報関連分野の定員を増加することにより、DX 推進人材の育成を通じて、地域活性化や産業発展に貢献し、地域が求める香川大学の役割を果たすことが期待される。

さらに、今後、リーダーシップをもって取り組むべき重要課題として、科学研究費補助金の増加策、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）推進策等についても、明

確な方向性を見据えて、積極的に尽力する決意を確認することが出来た。

今後、大学経営に関しては、財政状況がますます厳しくなる環境に鑑み、将来を見据えた中長期的なビジョンのもと、持続可能な大学運営を目指した更なるリーダーシップを期待する。